

◎埋蔵文化財包蔵地・唐人駄場遺跡の試掘確認調査

終了！…8月31日・9月1日(2日間)

現在、三崎地区に所在している「NPO法人ダディー牧場」の唐人駄場移設に関わり、唐人駄場遺跡内の試掘確認調査を8月31日・9月1日の2日間で行いました。調査に至る経緯には前号「市史編さん便り（第10号）」に掲載しましたので、ここでは省略します。

今回の調査では、市史編集委員会・出原恵三委員（考古・戦争遺跡担当）に指導をしていただきました。遠路・高知市より1泊2日の日程でご尽力いただきました。ありがとうございました。今回の調査は、ダディー牧場施設建物の基礎土木工事部分を6つの調査区に区分し、地中の埋蔵文化財（石鏃や縄文土器片など）の散布状況、遺構（竪穴住居の柱跡など）検出を目的に丁寧に調査を実施しましたが、時代特定できない土坑が出てきたこと以外に目立った埋蔵文化財の遺物・遺構を発見・検出することは残念ながらできませんでした。

区分については、A1区(3m×3m)、A2区(3m×9m)、B区(3m×3m)、C1区(3m×4m)、C2区(3m×4m)の5調査区を設定し、全面積69㎡の調査を精力的に進めました。かつては、芋畑として地域住民によって使用され、その後に公園化も進められて、場所によっては、土壌の削平や整地をかなりしていると思われます。今回の調査した箇所もそのような区域であったと思われ、既に土壌攪乱がなされており、期待した成果を得ることができませんでした。この結果を今後の遺跡管理に生かしていきたいと考えております。

今後は、10月以降に唐人駄場遺跡を含め、近くの山ノ神遺跡などで石鏃などの散布状況を調べるため踏査を行いたいと考えております。今回の報告書は、土佐清水市教育長の決裁を受け、高知県教育長に進達文書と文化財保護法第93条の届出を添えて提出しました。後日、文化財保護法第93条に基づく通知が届くこととなります。

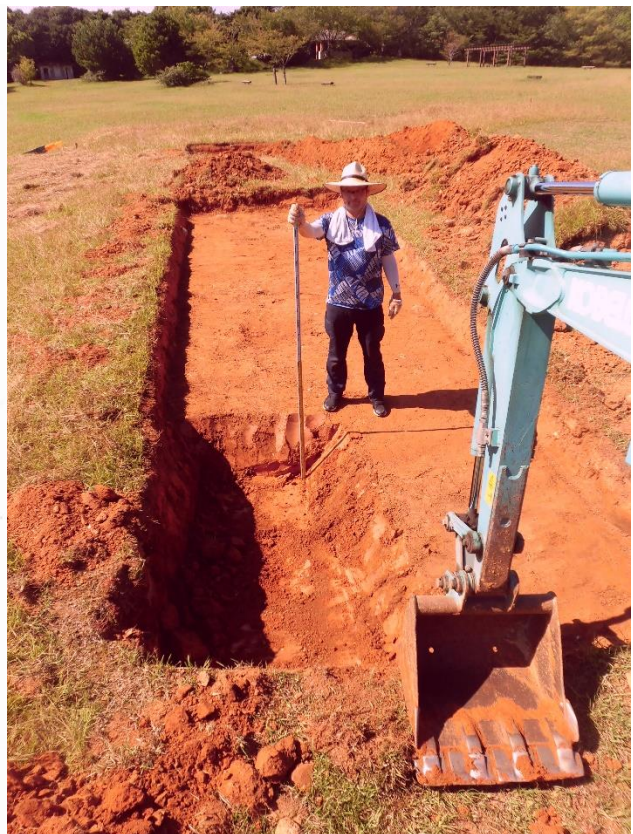
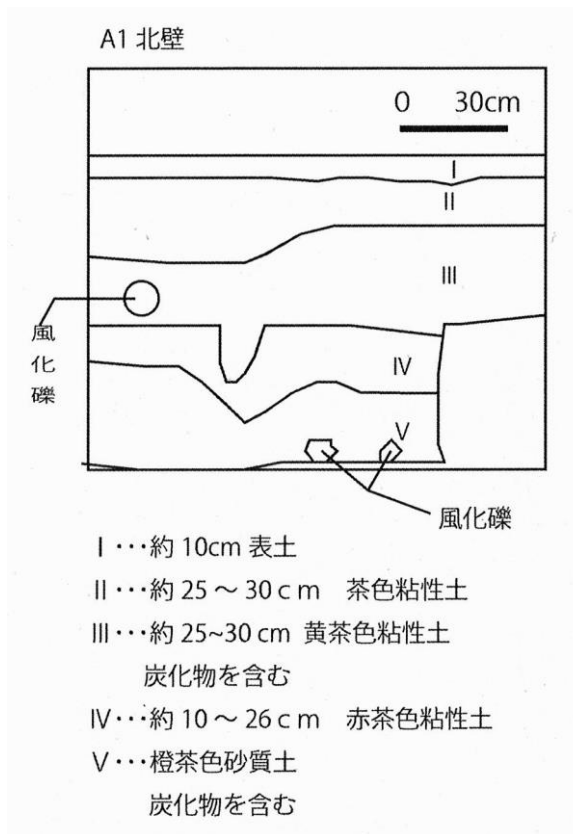
最後にA1区の北壁部分のトレンチ断面図を掲載しておきます。出原編集員の野帳のスケッチをもとにイラストレーターソフトにて作図しました。



A1・A2区の調査風景



C1区の調査、時代不明の土坑調査



「五校連合小学校修学旅行事前交流会」で平和学習講話

9月3日(木)(14時~14時30分)、市内大岐に所在する幡陽小学校体育館にて「土佐清水市の戦争遺跡」に絡めた平和学習の講話を依頼され、修学旅行生を前に話をしました。修学旅行に連合して行くのは、下川口・三崎・下ノ加江・幡陽・足摺岬の各小学校です。

講話のポイントとして、①太平洋戦争とはどのような戦争だったのか。②太平洋戦争で本土空爆があったとき土佐清水市はどんな状況だったか。③市内小江町に残る震洋特攻艇格納壕について。この3点を柱に、市内に残る防空壕跡、足摺探信所跡、銃撃された時計や医学書などの戦争遺物をなどと絡めて話を展開しました。

今日の教材として使用した土佐清水市の中浜・窪津・伊佐などの『国民学校日誌』には、空襲警報の発令で学校が休校になったことや、清水の街に爆弾が投下されたことなど綴られています。戦後75年、戦争の記憶と体験者の高齢化が進む昨今、今一度、意識してこれらの遺跡を整理しておく必要があると思います。



↑高知新聞取材記事